

社
SHA

楽
RAKU

神奈川県立川崎図書館 が所蔵する
全国有数の〈社史コレクション〉を
さらに活用していただくため、
社史の使い方や、社史の楽しさ、
社史情報などをお届けしていきます。

Vol.17

2013/05

慶応義塾高校では、生徒が卒業研究に取り組むそうです。安庭正樹先生は「企業の歴史」を担当し、そのテーマを選んだ二〇名以上の生徒を引率して、社史室に来室されました。安庭先生によると、例年は企業ミュージアムなどを訪れていたそうですが、社史という資料があることや、社史室の存在を、生徒に知ってほしかったということです。

社史室の限られたスペースに二〇名以上も男子高校生が入れるのか。担当者としては不安もありましたが、窮屈なりに、皆さん、整然と自分の関心のある会社や業種の社史を手にとって、熱心に見ていたので、とても嬉しかったです。



大勢の高校生が社史室に！

高校生による社史室の団体利用は、はじめてのこと。どんな感想を持ったのか、こちらも知れたかったので、アンケートを書いてもらいました。いくつか紹介します。

「予想以上に社史が多くあっておどろいた。また一つの企業でも何種類かの社史があることを知った。今回はじめて社史を読んでみて、その企業の歴史がよくわかった。また社史室に行き、他の社史も読んでみたいと思った。」

☆ぜひ、お待ちしております。

「どれも、何十年史など、とても長い歴史が書かれていて、日本の企業が海外企業に比べて歴史が長いことがわかった。本の中身を見てみると、創業から現在に至る道のりが書かれていて、当時のそれぞれの会社の社員の情熱が伝わってきた。」

☆それを見抜くとはすごいです。

(裏面へ)

(表面から)

「近所にある見知った企業の社史があったりして面白かった。戦前から続いている企業の苦労にも興味がある。インターネットで調べられないようなことが、ぎつしり書かれていたので、活用したいと思う。」

☆発見も社史室の楽しさです。

「同じ会社は何冊も社史を出していることに驚いた。ただただ事実を淡々と書いてあるだけかと思っただが、写真や題名に工夫があつて興味をもった。」

☆ぜひ見比べてみてください。

「社史と聞くとお堅い感じの本を想像しがちでしたが、なかにはカジュアルなスタイルの本もあつて意外でした。社史を読みながら、その企業とともに歴史をたどるのも面白いかと思えます。」

☆いろんなスタイルが増えています。

「知っている会社から一度も聞いたことない会社まで、さまざまな企業が社史を出していることに驚かされ、知っている会社ですら、その内容は知らないことばかりで奥が深いと思いました。これをきっかけに社史に多く触れていきたいです。」

☆意外な歴史を見つけてください。

「社史というのは、会社の成り立ちから、どのような目的で、このような会社を作ったのか理念が書かれている。」

☆すばらしい洞察力です。

ほかにも具体的な社名をあげているものや、将来の就職活動に利用したいなど、たくさんアンケートをいただきました。

また、お父さんの勤めている会社の社史を見ている生徒もいました。

社史室の担当としては、こういう機会を通して、若いうちに「社史」という資料を知っていただければ嬉しいし、すぐに役に立たなかったとしても、大学での勉強、就職活動、将来の仕事などで、「そういうえば立川崎図書館に社史があつたけど…」などヒントになればいいなと思っています。

狭い空間ということを承知の上なら、今回のような団体での利用も、できるだけ対応させていただきます。まずは事前に相談してください。社史の使い方のレクチャーなどを交えることも可能です。

(科学情報課／高田)

【昨年度にもっとも借りられた社史は？】

あまり抽出したことない統計ですが、試してみました。

1位は15回の貸出で9冊ありました。社史や社名を見ても、貸出の多い理由はよくわかりませんが、そのうちの1冊は福砂屋の『カステラ読本』(2005年刊行)でした。

福砂屋の歴史だけでなく、食文化や長崎との関わりなど幅広く書かれている社史です。坂本龍馬とカステラに関する記述もあるので、少し前の大河ドラマ『龍馬伝』の人気の余波もあったのかな？

●お問い合わせ先 神奈川県立川崎図書館 科学情報課

210-0011 川崎市川崎区富士見2-1-4

電話：044-233-4537 FAX：044-210-1146

<https://www.klnet.pref.kanagawa.jp/kawasaki/index.html>